

■落合直亮 志士。幕府の浪士徴募に応じて画策も、薩摩藩に転じて、維新後県大参事になるも連座免官。落合直文の養父。

おちあいなおあき

日本外史・・1827= 落合俊雄の長男として、武蔵国多摩郡駒木野村(東京都八王子市)に生まる。

シボク事件・1828= 1歳： 家は代々駒木野関所の関守で、国学を叔父の山内嘉六と堀秀成に学んだ。

・ ・ ・ ・ ・ 1836= 9歳：

大塩平八郎乱1837=10歳：

阿部正弘首座1845=18歳：

ペリー来航・1853=26歳：_ペリー来航するや、家督を弟の直澄に譲り、尊王攘夷を唱えて志士と交わる。

開国開港・・1854=27歳：

桜田門外変・1860=33歳：

8月18日政変 1863=36歳：*幕府の浪士徴募に応じて上京、清川八郎らと封事を学習院に上り、藤本鉄石と連絡をとり、天誅組の大和拳兵に呼応して関東で攘夷拳兵を画策し、禁門の変・・1864=37歳：_ついで、水戸天狗党の筑波拳兵に応じ、上州で拳兵しようとして金井之恭とも往来し、この間、小島四郎(相楽総三)とも交わる。

大政奉還・・1867=40歳：*薩藩が浪士を募集するや、小島の撤文に応じ、門下生5人を率いて江戸芝三田の薩藩邸に投じ、変名して水原二郎と称し、糾合所屯集隊を組織、小島を総裁に、直亮は副総裁となり、関東の擾乱を画策した。薩藩邸が旧幕兵により焼打ちされるや、薩藩士伊牟田尚平や30余人と重囲を脱し、品川沖碇泊の薩藩軍艦翔鳳丸に乗じて西走、紀伊九鬼湊に上陸し、

明治維新・・1868=41歳：_入京して西郷隆盛に関東の情勢を報じ、ついで政府軍に従って大坂・姫路に赴いた。岩倉具視の内命を受けて関東を視察、帰って復命した。維新後刑法官監察司判事・伊那県判事を経て、

初の日刊新聞1870=43歳：*同県大参事に進んだが、
廃藩置県・・1871=44歳：*横浜打払い事件に連坐して、免官となった。

学問のすすめ1872=45歳：

明治6年政変 1873=46歳：陸前志波彦神社宮司兼大講義・仙台市神道中教院の統督となり、子弟教育に当たる。

西南戦争・・1877=50歳：伊勢神宮而宜・伊勢神宮教院の教官となり、

明治14年政変1881=54歳：

新体詩抄・・1882=55歳：これを辞し、

帝国憲法発布1889=62歳：

帝国議会始・1890=63歳：

郡司千島探検1893=66歳：浅間神社宮司となった。

日清戦争始・1894=67歳：_没した。
国文学者落合直文は養子。